

令和7年度 織田中学校スクールプラン

〈 校 訓 〉

○ 啓智 成徳 錬磨

〈 教育目標 〉

○ 夢に向かって主体的に生きる生徒の育成

〈 めざす生徒像 〉

○ 自分のことも周りの人のことを考えて、行動できる生徒

○ 目標に向かって挑戦し、最後までやり遂げる生徒

〈 重点目標 〉

○生徒主体の授業と諸活動を創造し「魅力ある学校」を実現する

重点事項・本年度目標

確かな学力

すべての生徒が学びを実感できる授業づくり

- ・授業の中で「わかる楽しさ」「できた喜び」を実感できた生徒が80%以上

読書の充実・家庭学習の習慣化

- ・読書を通して、多様な世界に触れたり視野を広げたりすることができた生徒が80%以上
- ・家庭学習に計画的に取り組む生徒が80%以上

豊かな心

自分で考え、決定し、行動できる力の育成

- ・自分で物事を考え、決定し、行動することができたと感じる生徒が90%以上

安心感の醸成

- ・安心して学校生活を送る生徒が100%

具体的方策

すべての生徒が学びを実感できる授業づくり

- ・「知りたい、やってみたい、学びたい」と生徒が感じる学習課題の設定、活動、振り返りの授業展開を工夫する。
- ・各教科の「見方・考え方」を意識した授業づくりを行う。

読書の充実・家庭学習の習慣化

- ・全教員が手立てを工夫し、読書推進活動に参画する。
- ・家庭学習の計画を立てる時間の設定に継続して取り組み、充実させていく。

自分で考え、決定し、行動できる力の育成

- ・学級活動、生徒会、学校行事、部活動を生徒主体の活動になるよう支援する。
- ・自分に何ができるのかを考えさせ、活動させることですべての生徒に活躍の場を設ける。

安心感の醸成

- ・集会で生活を振り返る場を設定し、集団での規律や三美活（時間励行、整理整頓、挨拶尽礼）を遵守しようとする意識を育てる。
- ・定期的にアンケートや教育相談等を実施し、生徒の困り感を把握し、早期解決に努める。

〈業務改善のための取組〉

- ・教職員が協働して、教育の質の向上を図る。
- ・校務DXの推進や業務の効率化を図る。
- ・学校、家庭、地域の連携を一層強化する。